

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	篠山市立 篠山東中学校 職・氏名 教諭 岡澤 直樹	研究チーム名 (篠山東中 “ チーム支援 ” 研究チーム)
-------------	------------------------------	------------------------------------

研究テーマ分類番号 (8)

(1)研究テーマ

特別な支援の必要な生徒に対する心理教育的アプローチを基盤とする効果的なチーム支援のあり方について

(2)研究経過及び具体的な取組

【研究経過及び具体的な取組】

5月18日 校内支援体制の確認と「チーム支援」についての研修

5月24日 先行研究の調査(～31日)

- ・ 調査方法：インターネット検索による文献精読
- ・ 調査成果：チーム支援と校内支援委員会の実態についての研究論文から、3点を調査対象として読破した。

6月 8日 特別支援教育的視点による生徒の実態把握実施(～2週間程度)

- ・ 調査対象：全校生徒
- ・ 調査方法：「実態把握シート」を使用して、学年会議等において、学年担当職員がディスカッションしながら記入する。
- ・ 調査成果：3ランク(ABC)に分けたことにより、ハイリスク(A)の生徒への支援を優先的に実施する動きが芽生えた。
学年生徒指導担当を中心に、学年単位で支援をすすめていく生徒とは別に、特別支援教育コーディネーター・児童生徒支援担当・養護教諭を軸に、学級担任・教科担任・部活動担当・SCが入る「チーム支援」をすすめていった。

6月22日 チーム支援シート提案、試行

7月 6日、13日 支援状況の確認と修正

7月21日～8月31日 関係書籍を読み、研修をすすめた。

8月 6日 特別支援教育関係の研究大会に参加

9月14日、21日 支援状況の確認と修正

9月27日 「チーム支援」の校内研修・・・現状報告とケースカンファレンス

10月 5日、19日 支援状況の確認と修正

10月21日 特別支援教育関係の研究大会に参加

11月 9日、16日、30日 支援状況の確認と修正

11月20日 学校での支援方法に係る学校心理学関係の研究大会に参加

【成果と課題】

研究チーム3名を軸にしながら、ケースに応じてさまざまなサイズのチーム(3人～7人)での支援を実施してきたが、試行錯誤の連続である。平成23年2月7日には、チーム支援を推進されている講師を招聘して、研究総括の意味を込めて、実践に役立つ研修会を予定している。